

GINGA REPORT 401

No. 90
2022.11

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和4年11月1日
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム
電話：059-355-2700

11月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

くじら座の星々

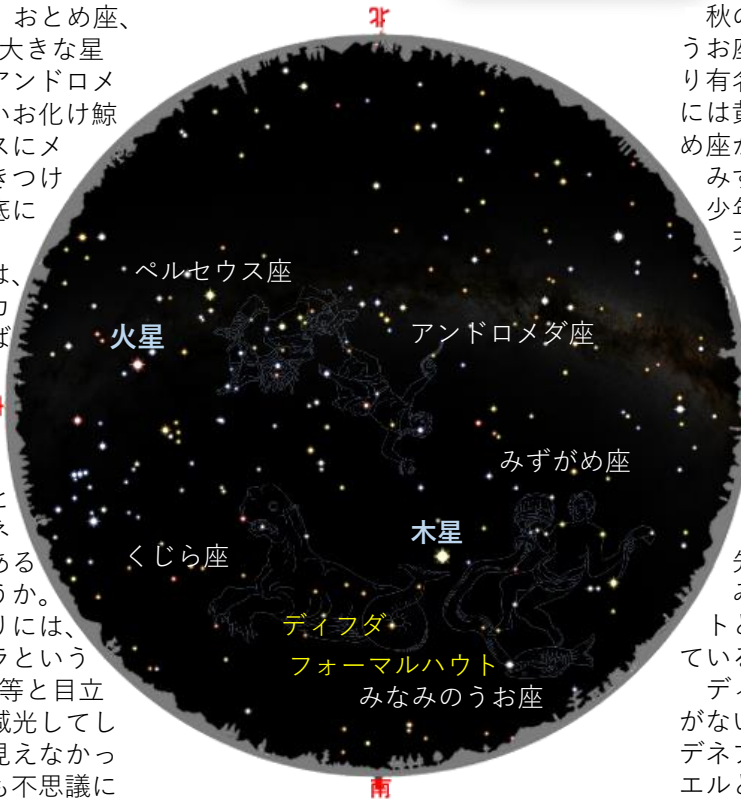
11月15日21時の星図

1匹目のカエルはどこ？

くじら座は、うみへび座、おとめ座、おおぐま座に次いで4番目に大きな星座です。ギリシャ神話ではアンドロメダ姫を襲ったという恐ろしいお化け鯨ですが、最後にはペルセウスにメドゥーサの首を目の前に突きつけられ、石になって深い海の底に沈んでしまいます。

くじら座で一番明るい星は、日本では一般的にデネブ・カイトス（クジラの尾）と呼ばれています。しかし2016年に、国際天文学連合の恒星の命名に関するワーキンググループで「2匹目のカエル」という意味のディフダと正式に決定されました。デネブの名がつく星はたくさんあるため、避けられたのでしょうか。

またくじら座の心臓の辺りには、「奇妙な」という意味のミラという星があります。あるときは2等と目立ち、あるときは10等にまで減光してしまう変光星です。見えたり見えなかったりする変光星を、昔の人も不思議に思っていたのかもしれません。



秋の夜空で唯一の一等星はみなみのうお座のフォーマルハウトです。あまり有名な星ではありませんが、その上には黄道12星座のひとつであるみずがめ座があり、良い目印となります。

みずがめ座はギリシャ神話では、美少年ガニュメデスの姿をしています。天で大神ゼウスの酒を汲む役目を果たしていました。実はみなみのうお座が、お腹をむけてひっくり返っているように見えるのはガニュメデスの持つ水瓶からこぼれた酒が口に入り、酔っ払ってひっくり返ってしまったからだと言われています。

ところでフォーマルハウトの別名もディフダと言いました。先ほどのくじら座のディフダは、みなみのうお座のフォーマルハウトと並んで、2匹のカエルに見立てているのだそうです。

ディフダはまだ日本では馴染みがない名前です。くじらの尾としてのデネブ・カイトスと、二匹ならんだカエルとしてのディフダとみなさんほどちらに見えるでしょうか。

今月の天文トピック

皆既月食と天王星食

2022年11月8日の夜、皆既月食が起こります。皆既月食とは太陽からの光によってできた地球の影の中を、月が通過するときに見られる現象です。太陽、地球、月が一直線に並んだときに見られるもので、つねに満月になります。

また月食の最中に月が天王星を隠す「天王星食」も起こります。天王星食は惑星食の一種で、惑星の前を月が横切ることによって、惑星が隠されたように見える現象です。四日市では20時36分頃に天王星が月の縁に潜入し、21時25分頃に月の縁から出現します。次にこうした惑星食が月食と同時に見られるのは、日本では2344年まで待たなければなりません。

天王星は薄い青色にみえ、約5.6等と肉眼で見える限界の明るさです。観察には双眼鏡や望遠鏡などの道具があると便利かもしれません。皆既月食中の月は普段よりも暗いため、天王星も比較的にみつけやすいと考えられます。非常にめずらしい皆既月食と天王星食の「ダブル食」、見逃さずに観察したいものです。

2015年4月4日



©札幌市青少年科学館

博物館主催 スターウォッチング

博物館主催観望会

場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近
◇11月8日(火) 18:30~21:00「皆既月食と天王星食観望会」

博物館主催きらら号観望会

場所：博物館前市民公園
◇11月26日(土) 19:30~21:00「火星を見よう」



※当日受付・参加無料です。
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)
※マスク着用、手指消毒をお願いいたします。

編集後記

木々の葉も黄色や赤に色づき、本格的に秋が深まってきました。秋といえば食欲の秋や読書の秋。皆さんはどんな秋を連想されますか。

秋の星座を調べると、ペルセウスやアンドロメダ、くじら等、一つの繋がったストーリーになっているので、星座をみていくと共に一冊の本を読んだかのような気になります。物語を想像しながら夜空を眺めるのも楽しいですね。

11月の月

1日  上弦

8日  満月

16日  下弦

24日  新月